

瀬戸内タウンミーティング（本庄地区）

平成 21 年 11 月 16 日（月）19 時～21 時

本庄コミュニティセンター ホール

参加者：男性 17 人、女性 9 人、計 26 人

市民から出た意見と市長の反応

- ・市長が考えている基本構想が聞きたい。市民をどのように導いてくれるのか。

（市長）自身のマニフェストについては議会等で公表している。基本的には、この基本構想も若手職員と私が一緒になって考えたこともあり、ほぼ考え方は同じであると思ってよい。

行政を進める上で一番に考えていることは「フェア」であること。特定の人たちだけが得をするようではいけないし、みんなが損をしたと思えるようであれば、まちは元気にならない。良心に問いかけて正しいかどうかを判断しながらまちづくりを進めたい。

- ・本庄地区の下水道整備は 30 年先との声も聞かれる。そうであれば、合併浄化槽を設置し補助金を交付することも一つの手段であると思う。

（市長）現在計画を見直している。不公平感のないよう合併浄化槽での対応も視野に入れながら対応を考える必要がある。来年度早々には細部までお示しできると思う。

- ・大雨などで増水したとき、県道が通行できなくなり、65 歳以上の一人暮らしの方など災害弱者の支援に行けなくなる。千町川の早期改修が必要だと思う。

（市長）千町川の早期改修については要望を続けている。民主党政権になって、今後どのような状況になっていくか見極めていく必要があると考えている。

- ・第 2 の夕張にはならないと言っていたが、南北道についてはこれからどれくらいの税金を投入しなければならないのか。また、吉井川堤防の道路整備の進捗具合は？

（市長）南北道については当初計画で約 13 億 7 千万、そのうち一般財源が約 2 億 6 千万となるものである。私が就任したときはすでに用地買収もほぼ終わっていた。事業中止により用地をそのままにしておくよりも、道路を整備し、沿線の活用を考えていく方が現実的であると考えている。また、瀬戸内市の財政については、今まで放漫経営をしてきていない。財政状況が苦しいのは

全国どの自治体も一緒であり、その中にあっても瀬戸内市は比較的好い方だと思う。しかし、今後地方交付税が減少していけば苦しい状況になることも考えられる。また、吉井川堤防の道路については、当初の予定と変わってきている。工事にあたっては、長期間の通行止めの問題もある。これも民主党の動向を見極めていく必要があると考えている。

- ・今のままの市民病院では不安がある。どのようにしたいと考えているのか？
- ・安心して行ける病院があった方がいい。
- ・市民病院は休日の対応もあり助かっている。病院が近くにあれば安心できる。
- ・基本構想原案の中に「低所得でも安心して医療サービスが受けられるまち」というものがあるが、現在は医療費も高くなり、院外薬局の契約をすればコストは高くなり、基本構想と逆行することになる。市民や今後の市民病院のあり方をどのように考えているのか、市民の意見を聞いてほしい。

(市長) 現在の市民病院は、耐震基準を満たしていない。現状のままでは新しい機器を導入するのも不可能であり、医者も来てくれなくなる可能性があり、あのままでは10年先までもたないと考えている。したがって、市民病院を残すとすれば建替え以外に方法がないのではないかと考えている。

現在市民病院に来てもらっている先生の中には信頼を得ている方もおられ、手術件数や救急の受入れも伸びてきており、経営状態も良くなっているのは事実である。

現在、市民病院についてのアンケートを実施している。市民の皆さんのご意見を参考に、市民病院の今後の方向性を出していきたいと考えている。

- ・合併したときに今回と同じような計画があったと思うが、なぜあらためて作り直すのか。また、今回の計画は財源の裏付けがなく、「この時期までにこれを実施する」とかといった道筋がついていない。

(市長) 前回の計画は合併後にとり急ぎで作ったもの。今回は、主役である市民の方の参加も得て作りたいと考えている。財源については実施計画を作ることにより管理していく。道筋は、大元となる理想の姿が決まっていなくてつけることはできない。理想の姿にどれくらい近づけたのかを把握するためにも、住民の方々の意見もお聞きしながら数値目標を出していきたいと考えている。

- ・瀬戸内市には用度課がない。したがって、鉛筆1本買うにも発注がばらばら。また、入札の体制について見直す予定はあるのか。

(市長) 入札については、来年度実施予定の機構改革により見直しできるよう

にしたいと考えている。また、物品等については、共同購入により安くなるもの等を見極めたいと思う。

- ・ 佐井田の道路が狭い。切り抜いた道を拡げるのか、迂回路をつくるのか。どちらがよいと思うか？また、現在の道路形態になって沿線で商売されている方についての理解は得られているのか？（市長から逆質問）

県の財政事情により設計ができているにもかかわらずストップしている事業は多い。

（市民）佐井田の道路は、県の財政状況から事業がストップしていると聞いているが、なかなか住民に説明がなされない。地区住民には説明があってしかるべきだと思う。現在の道路形態になって通行量は減っている。

- ・ 4年に1度、マニフェストを変えるのではなく、ずっと貫いてほしい。そして、人に優しい行政を進めてほしい。

（市長）市民との役割分担を考えながら、市民と行政が知恵を出し合う行政を推し進めたい。そして、ぶれることなく進んでいきたい。